

## リスクアセスメント実施一覧表（実施記載例）（荷役作業 2）

リスクアセスメント対象職場	1～3の実施担当者の実施日 ○○ 一朗 H18年○月I日	4～6の実施担当者の実施日 △△ 二郎 H18年○月I日	7～8の実施担当者の実施日 □□ 昭次 H18年○月I日
移動式クレーンを使用したトラック荷積み・荷降ろし作業			

支店長	部長	課長	担当
◎	◎	◎	◎

1. 作業名 (機械・設備)	2. 危険性又は有害性と発生のおそれのある災害(※)	3. 既存の災害防止対策		4. リスクの見積り		5. リスク低減対策案		6. 措置後のリスクの見積り		7. 対応措置		8. 備考
		重篤度	発生可能性	優り先度	発生可能性	重篤度	発生可能性	対策実施日	次年度検討事項			
重量物玉掛け作業	定格荷重を超えた玉掛けを行った為、クレーンが転倒し、作業者がクレーンの下敷きになる。	指差し呼称による定格荷重を確認する。	△	Ⅲ	過負荷防止装置を切れないようにする。	×	△	H19 */*	過重警報装置を取り付ける。			
	軟弱な地盤にクレーンを設置した為、クレーンが転倒し、作業者がクレーンの下敷きになる。	作業前ミーティングによる設置場所を確認する。	×	×	鉄板を敷く。	×	○	H19 */*				
搬入トラックに対する積み込み降ろし作業	クレーン運転室に上がる時、足を滑らせて転落する危険がある。	梯子への滑り止めテープを貼付する。	×	Ⅲ		×	○	H19 */*				
	荷台上で吊り荷が振れて、積荷の間に挟まれ転倒の危険がある。	地切り時の一旦停止を徹底する。	×	△	振れ止めロープを使用する。	×	△	H19 */*				
	昇降設備を使わずに荷台上に昇降するとき、足を踏み外したり、滑らせたりして、転倒する危険がある。	運転席横のハンゴを使用する。	×	△		×	○	H19 */*				
	荷台上でシート掛け作業中、身体バランスを崩して転落する危険がある。	作業前ミーティングで注意する。										
	クレーンで製品を吊り上げ旋回中、製品がトラック上の作業者に接触し、荷台から転落する。	荷の下に入らないように教育する。	×	△	地切り30cmとともに作業台と介錯ロープで振れのなごことを確認し、吊り上げる。	×	○	H19 */*				
	吊り荷の固縛不備のため、吊り荷の一部が抜け落ち、作業者に激突する。	玉掛け資格者に作業させる。	×	△	地切り30cm介錯ロープで固縛を確認	×	○	H19 */*				
	クレーン旋回範囲への、立入り禁止措置をしていなかったため、カウンタウエイの旋回時に歩行者に激突する。											

凡例：●災害の重篤度 X=致命的・重大 △=中程度 ○=軽度 ●発生可能性 X=顕著・可能性が高いか比較的高い △=時々・可能性はある ○=ほとんどない・可能性がほとんどない  
 ●優先度 Ⅲ=直ちに解決すべき又は重大なリスクがある。 Ⅱ=速やかにリスク低減措置を講ずる必要があるリスクがある。 Ⅰ=必要に応じてリスク低減措置を実施すべきリスクがある。  
 ※(災害に至る過程として「～」なので、～で「+」になる」と記述します)